

政策01 環境と調和する都市の構築

評価項目	評価
施策03 水とみどりの保全と創出活用	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の達成状況】 「緑に親しめる空間があると思う市民割合」は、横ばいの傾向。野幌・大麻地区は野幌原始林に隣接しているため割合は高いが、江別地区は距離感からか、相対的に低い傾向にあると考えられる。「水に親しめる空間があると思う市民割合」では、低下傾向にある。江別地区は低い傾向にあり、同地区が石狩川や千歳川、早苗別川に隣接し、過去の水害等の影響から、川に対する認識が「親しむ」というよりも現実的な対応を要する対象となっているものと考えられる。また、大麻地区でも低下傾向にあり、住宅地の広がり等により、隣接する河川に対する意識が、江別地区に似た傾向を示してきているものと考えられる。</p>	<p>データに基づいて、江別地区が特に低かったということで記載しているのなら、その部分を補記していただきたい。</p>	<p>データ等の補記について検討する。</p>
<p>【施策の環境変化】 ・地球温暖化防止の観点から、みどり（樹木）は二酸化炭素を吸収する役割を担っており、保全・創出の重要度は増している。 ・市民の自然環境、緑化保全意識の高まりは年々増高の傾向にあり、「豊かな心の醸成」と「自然希求」のライフスタイルが浸透し、草花や樹木を生活空間に取り入れ、自然とふれあいながら生活を楽しむ市民が増えている。 ・自治会等で取り組む「花のある街並みづくり運動」や農村地域での花で彩る取り組みなど、快適な環境づくりが地域の取組みとして実践されている。</p>	<p>「増高の傾向」との記載があるが、このような表現は一般的ではないのではないか。</p>	<p>わかりやすい表現について検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大都市近郊の平地原生林としては、たいへん貴重な野幌原始林（森林公園）など、貴重な自然の恵みを活かしたまちづくりが求められている。 ・水と緑豊かな街づくりのためには、地域の特徴を活かした環境保全活動が市民的運動として発展、定着することが不可欠である。 	<p>「地域の特徴を活かした環境保全活動」とあるが、「地域の特徴」とは具体的にどのようなことかわかりにくいのではないかと指摘されている。</p>	<p>地域ごとの特徴的なことについて具体的な例示を加えた記載が可能だと思えるので検討したい。実際に、ひまわりを道端に植えている団体も農村地区にあるので、そのような事例を補記するなど検討する。</p>

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策01 環境と調和する都市の構築

評価項目	評価
施策03 水とみどりの保全と創出活用 基本事業01 水とみどりの保全	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
【達成状況】 「地域制緑地（緑地保全地区等）面積には変化がない。今後も減少しないよう、市民植樹など啓発活動を通して、緑地の保全の意識の醸成に努める。	「保存樹木等指定事業」に関する記載が成果指標もしくは達成状況の中に必要ではないか。	達成状況の中で触れたほうが良いと思うので次回記載する際に表現の工夫をする。
	目的や意図の中で「水辺環境を守る」という記載があるが、成果指標や達成状況には「水辺環境」に関する記載がない。必要ではないか。	市民アンケートで「水辺環境」に関して分析できる設問がない点と、具体的に水辺をどのように活用しているかという状況を指標に表せるデータがない。どのようにすればその部分に関してデータ化が可能かということについては研究を重ねる。

担当部署の評価内容	委員の意見
【意見・提言】	目的に「市民と事業者、行政が」という記載があるのにも関わらず、対象の中には「行政」が入っていないが必要ではないか。同様に「基本事業02 水とみどりの創出活用」では基本事業の目的の書き出しで「市民・事業者が」となっているが、ここに行政が入っていないが必要ではないか。また、同じく対象の部分にも「行政」が入っていないが必要ではないか。

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策01 環境と調和する都市の構築

評価項目	評価
施策03 水とみどりの保全と創出活用 基本事業02 水とみどりの創出活用	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【達成状況】 「花のある街並みづくり事業の参加団体数」は、減少している。今後とも参加していない自治会などに参加を呼びかけるが、花壇がない、人手が足りないなどの要因で参加できない団体も生じている。 「自宅で緑を育てている市民割合」は年齢が高くなるほど割合が高くなっている。若年層ではアパートなどで緑を育てることが現実的に難しいことなどが要因として考えられる。今後も緑化相談を通して市民の緑化に関する情報提供を継続するなど、地道な活動を継続していく。</p>	<p>「花のある街並みづくり事業」について、現状や課題についてももう少し詳しい記載があったほうがよいのではないか。</p>	<p>表現を検討する。</p>
<p>【その他】</p>	<p>4月の広報えべつで「貸し農園制度」の取り組みが掲載されていたが、そのような取り組みもこの部分で評価すべきなのではないか。</p>	<p>農業担当部署と整理した上で達成状況や成果指標で記載できるかを整理する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【意図】 緑を育てる。 緑を育み、緑豊かなまちづくり。</p>	<p>「緑を育てる。」と「緑を育み、緑豊かなまちづくり。」とあるが、同じことを指しているの分けて記載しなくてよいのではないか。</p>